

学校 家庭 地域

学校を変える。教育が変わる。



Creative Learning Information Paper

Vol.57

平成27年3月31日発行
広島県教育委員会

子供たちが生きる10年後、
20年後はどんな社会でしょうか？
これからの社会で
たくましく生きていくためには
どんな力が必要なのでしょう？

広島から新しい学び、はじまります！

～目指す人材像～

広島で学んだことに誇りをもち、
やりたいこと、実現したいことをしっかり持って、
様々な人々と協働しながら解決策を見出し、
行動できる力を培っていきます。



これから しっかり取り組む学び 「学んだことを使って新しいことを生み出す」学び



- ★子供が「なぜ」「どうしたらいいんだろう」「もっとこんなことをやってみたいな」と考えるような、子供を主体とする学び
- ★習ったことを、生活や他の学習の中で生かすことができるような深い学び



変化の激しい社会では、習ったことを丸暗記しただけの知識で解決できる問題はほとんどありません。そこで、これからの社会をたくましく生きていくために必要となる力を育てるため、子供たちが学んだ知識をつなげて新たな知識を生み出したり、新たな学びを展開したりするような「課題発見・解決学習」をより重視します。

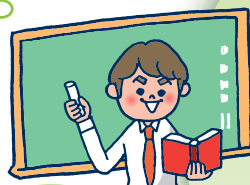
いろいろな教科で習ったことを使ったり、知っていることをつなげて考えたりするといいいんじゃない？



- 子供たち自身で「なぜそうなるのか」と疑問を持ち、学んだことを使って考えられるようにする必要があるな。
- ただ覚えるのではなく、学んだことを生活の中で生かすことができるようにしたいな。

これまでの学びに加えて

これまで 力を入れてきた学び 「知識やスキルをしっかりと身につける」学び



- ★講義形式
- ★教師中心の学び

このことからの意味が分かったよ

計算ができるようになったよ

- 多くのことを覚えたり、理解したりする学習
計算ドリルなどの繰り返し

この場合は今まで習ったことをどう使うんだろう？

大事なところを覚えただけでそれだけでいいのかな？



自分で課題を立てて、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいる子供は

学力が高い
傾向があります。

差
18.1P

当てはまる	64.3
どちらかと言えば当てはまる	60.3
どちらかと言えば当てはまらない	53.7
当てはまらない	46.2

【小学校国語B問題】(全国学力・学習状況調査) 児童質問紙調査の回答ごとの教科調査の平均正答率